



陽光

令和6年9月13日 第11号 文責 梶原 圭一



水俣に学ぶ肥後っ子教室

県内のすべての小学校5年生を対象に、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」という事業が行われています。この事業は、「環境立県くまもと」づくりの担い手である熊本の子どもたちに、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的に、毎年実施されています。9月6日(金)に、本校の5年生も水俣を訪れ、学習を行いました。

この学習を行うにあたり、様々な資料(DVDや写真などの映像資料も含めて)を使った事前学習をしっかりと行い、一人一人が水俣病発症の原因や人々の取組、美しい海を取り戻す運動やごみの分別等について主体的に学ぶ意欲を高めて現地での学習に臨みました。

子どもたちは、実際に自分の目で見て、話を聞いて、心で感じたことがたくさんあったようです。ここでの学びを生かし、これからも学習を進めながら、私たちにできることは何かを学年、また学校全体で考えながら、実践に結び付けていきます。



「お金との向き合い方を考える」金融教育

9月9日(月)に、お金との向き合い方を考える金融教育を行いました。菊陽町の小学校では初めての取組でしたが、5年生の家庭科の学習内容を考えながら計画しました。肥後銀行から5名の方々をお迎えし、「お金の管理」と「お金にまつわるトラブル」について、ゲーム等を交えながら楽しく学べる時間を作っていただきました。特に、新しいお札の流通が始まっていますが、子どもたちが実際に手に取り、じっくり観察する時間を作られました。明るい方にかざしたり、角度を変えてみたりしながら、興味深く眺める姿が印象的でした。また、久しぶりに見る二千円札の絵柄も、子どもたちにとっては新鮮だったようです。

授業の後半に、実際に起こっているゲーム課金やクレジットカード利用の問題についても話をされました。身に覚えのない多額の引き落としに家族の方が気づき、問題が分かったというケースも少なくないようです。キャッシュレスで清算を済ませる時代が進む中であるからこそ、この学習をきっかけに、子どもたちには、しっかりとした金銭感覚を身に付けていってほしいと思います。

◆◆◆ ミシンの学習 たいへんお世話になっています ◆◆◆

6年生が家庭科の布を縫って製作する学習活動として、ナップザックづくりを行っています。ミシンを使って製作しますが、地域のたくさんの方々をサポートしていただき学習が進められています。本当にありがたいことであり、地域の方々の温かさを感じています。



【お知らせ】 これから連休が続きますし、10月には秋休みも待っています。子どもたちの動きも活発になると思います。万が一、土・日曜日や祝日中にお子様にご事故等があった場合は、以前よりお知らせしてあります。菊陽町教育委員会の公用携帯にご連絡願います。そこから学校関係者に連絡が伝わるようになっています。